

令和7年第4回議会定例会における行政概要報告書  
(令和7年8月16日から令和7年11月14日まで)

1 日欧の学生による書道体験の実施について

9月6日、ふれあいセンターすがやにおいて、量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所による「J T - 6 0 S A国際核融合スクール」に参加している日本と欧州の学生20人が、日本文化に触れる機会として、吉澤石琥先生にご協力いただき漢字の講話のほか、うちわや扇子に好きな文字を書く書道体験を行いました。

また、9月13日、中央公民館において、高野いな代先生にご協力をいただき茶道体験や講義を行い、日本ならではの体験を通して楽しみながら交流を深めました。

2 移住・定住促進に係る取り組みについて

9月20日、本市を含むいばらき県央地域移住・定住促進協議会の9市町村合同で、首都圏の住民と移住定住の受け入れを希望する地方の自治体とのマッチングを図るため、東京国際フォーラムで開催された「ふるさと回帰フェア2025」に参加しました。当日は43組60人からの相談のほか、VRゴーグルを使用したいばらき県央VR移住体験ツアーで県央地区の移住PRを行いました。また、チャットGPTを活用した移住希望者に合った市町村のAIマッチングを実施しました。

3 ヤマト運輸株式会社との包括連携協定締結について

10月9日、ヤマト運輸株式会社の職場体験や交通安全運動などの協力に加え、安心・安全なまちづくりに関するここと、防災及び災害対応に関するここと、子どもにやさしいまちづくりに関するここと、環境に優しいまちづくりに関するここと、その他地域経済の活性化および市民サービスの向上に資することの5項目についてヤマト運輸株式会社と地域包括連携協定を締結しました。締結は茨城県内の自治体として、茨城県、つくば市、土浦市に続く4自治体目となります。

4 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所40周年記念行事における那珂市のPRについて

10月11日、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構那珂フュージョン科学技術研究所において、40周年記念行事が開催されました。また、ホテルレイクビュー水戸において開催された懇親会では、那珂市農畜産物をふんだんに使用した料理の提供や、那珂太鼓保存会による演奏で那珂市をPRしました。参加者は料理に舌鼓をうち、勇壮な太鼓の演奏を堪能しました。

## 5 2025ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会（サイクリストの集い）について

11月2日、那珂市のPR及び自転車活用の推進を図るため、いばらきサイクリング協会主催の「2025ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会（サイクリストの集い）」が開催されました。大会は、なかLucky FM公園を発着地点として、ロングコース（約80km）及び市内周遊コース（約25km）の2部門で構成され、県内外から90人のサイクリストの参加がありました。参加者には那珂市からのおもてなしとして、市特産ブランド認証品等を提供し那珂市をPRしました。

## 6 日本大学文理学部学園祭と茨城大学学園祭への参加について

11月1日、相互連携・協力に関する包括協定を締結している日本大学文理学部の学園祭（桜麗祭）に、8日には同協定を締結している国立大学法人茨城大学の学園祭（茨苑祭）に参加しました。いずれの学園祭においても、那珂市特産品ブランド認証品やナカマロちゃんグッズの販売、フェルミエ那珂の朝採れ野菜の直売などにより、那珂市のPR活動を行い、学生はもとより、来場した保護者や大学周辺にお住まいの方にも好評を得ることができました。

## 7 市職員に対するカスタマーハラスメント対応マニュアルの策定について

10月、昨今のカスタマーハラスメントをめぐる情勢を受け、職員向けにカスタマーハラスメント対応マニュアルを策定するとともに管理職員向け説明会を開催し、市の対応方法等について周知しました。今後予定される「労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の一部を改正する法律」の施行を見据えて、適切な応対を推進することはもとより、行政に対する不当要求行為等に対しては、組織として毅然に対応してまいります。

## 8 行政活動外部評価の実施について

10月8日、20日の2日間、中央公民館及び市役所において、評価の客観性及び透明性確保の観点から、外部の有識者及び市民委員で構成される市行財政改革懇談会による行政活動外部評価を行いました。

今年度の評価対象は、委員の協議により第2次総合計画後期基本計画の第2章「安全で快適に暮らせるまちづくり」の「健康で快適に過ごせる生活環境の保全を図る」について、また、第5章「活力あふれる交流と賑わいのまちづくり」の「活力ある農業の振興を図る」としました。懇談会よりいただいたご意見等は今後の施策の推進に活かしてまいります。

## 9 テネシー州オークリッジ市との交流について

8月19日から27日の9日間、中学生交換交流事業として市内中学生9人と引率者2人が国際親善姉妹都市・オークリッジ市を訪問し、ホームステイを体験しました。滞在中は、アメリカの文化や日本との教育環境の違いなどを学びました。

## 10 多文化共生セミナーについて

10月11日、ふれあいセンターよこぼりにおいて、多文化共生セミナー「ペルーと日本の違い」を開催しました。講師にペルー出身の田中カテリネさんをお迎えし、日本での生活の中で感じた文化の違いなどについてわかりやすくお話しいただきました。また、交流会では参加者と共に母国の伝統菓子や飲み物を楽しみました。

## 11 台湾台南市との交流について

10月16日から19日の4日間、友好交流都市・台南市とさらなる友好交流を図るため市長、議長及び市議会議員5人が台湾に渡航しました。渡航期間中は、台南市政府及び台南市議会への表敬訪問や新設される那珂市の名前を冠した道路などの視察を行い、両市における親交や理解を深めました。

また、17日、市長が台南市長と面会した際には、道の駅の外周に新設する道路を「台南通り」と命名することを公表しました。

## 12 協まち・カフェについて

11月2日の額田地区・菅谷地区・戸多地区を皮切りに、8日に神崎地区、9日に五台地区・木崎地区において各地区まちづくり委員会主催の「ふれあい祭り」の開催に合わせ、「協まち・カフェ」を開催しました。各地区とも、多数のかたにご来場いただき大変好評でした。

## 13 戦没者追悼式について

11月1日、那珂市総合センターらぽーるにおいて、那珂市戦没者追悼式を挙行しました。式典には、遺族会関係者や来賓等を含む約160人にご列席いただき、1090柱の戦没者の御靈に対し、黙とうと献花を行いました。

式典に先立ち、那珂市遺族会額田分会賛同会員及び額田地区の小・中・高校生による朗読劇「みたまへのおたより」が上演されました。会場では、朗読劇を見守る児童生徒の姿も見られ、世代を超えて戦後80年の節目に追悼の意を新たにする式典となりました。

## 14 那珂市保育施設を見に行こうツアーについて

8月から9月にかけて全3回の日程で、保育士を目指す学生に本市の保育施設を知ってもらうとともに、各施設の特色や子どもたちの雰囲気、職場環境など、保育職の魅力を体感し就職につなげることを目的に「那珂市保育施設を見に行こうツアー」を開催し、4人が参加しました。

市内の民間保育所等を訪問した参加者からは、「実際に保育をしている様子を見ながら保育士の仕事内容など見ることができ、就労に向けて前向きになった」「それぞれの園の特色や違いを知ることができた」などの感想がありました。

## 15 子育て世帯を対象としたおこめ券の配布について

8月から10月にかけて、エネルギー・食料品価格等の物価高騰及び米価高騰の影響を受けている子育て世帯の生活を応援することを目的に「那珂市お米でハグくむ子育て世帯緊急応援事業」として、おこめ券の配布を実施しました。

配布対象者は、市内在住の18歳以下の児童と同居する世帯主で、一世帯につき4,400円相当の全国共通おこめ券を4,195世帯に配布しました。

## 16 子育てフェスタについて

11月1日、地域子育て支援センターつぼみにおいて、「子育てフェスタ」を開催しました。子育て世帯を中心に市内外から272人が来場し、茨城女子短期大学の学生による演奏を交えた絵本の読み聞かせや、人形劇サークル「ころりん」の皆さんによる人形劇、フリーマーケットの出店、紙コップを使った制作や様々なゲームなどイベントを楽しみました。

## 17 怒鳴らない子育てプログラム講習会について

9月10日から11月5日まで全7回の日程で、市役所本庁舎において、未就学児から小学校低学年の子を持つ父母を対象に「怒鳴らない子育てプログラム講習会」を実施しました。講習会では、こども家庭センターの子ども家庭支援員が講師となり、「怒鳴らない子育て」をテーマに、子どもとのコミュニケーションの取り方、親としての心の持ち方等を学びました。参加者からは、「講習会に参加し、今までより落ち着いて子どもと向き合えるようになってきました」「講習会で学んだ知識を自分がやっていたら、家族の子どもへの対応も変わってきました」「夫や職場の人に対しても、講習会で学んだスキルを活かせることに気づき実践しています」等の感想がありました。

## 18 敬老事業の実施について

6月9日から11月4日にかけて、本年度の百歳達成者25人のかたへ、国、市からの褒状と記念品及び県からの褒状を贈呈しました。更に、市内最高齢のかた1人及び米寿を迎えたかた376人に、市からの記念品を贈呈しました。また、市内全地区で敬老事業又は敬老記念品の配布の事業を実施し、(1自治会のみ11月22日に敬老会を開催予定)対象者は10,729人でした。

## 19 グループホームの整備に係る事業予定者の選定について

令和8年度に認知症対応型共同生活介護事業所（通称：グループホーム）を整備する事業者の公募については、1事業者から応募がありました。応募事業者について、市地域密着型サービス整備審査委員会におけるプレゼンテーション等の審査の結果、社会福祉法人ナザレ園を10月27日に事業予定者として選定しました。

## 20 うまいもんづくりプロジェクト求評会について

9月26日、ふれあいセンターすがやにおいて、14事業者の参加の下、「那珂市うまいもん会議～ト レ ヴ イ～」主催による求評会を開催しました。那珂市農産物を

使用した特產品の開発につなげるため、「一般產品部門」に19品目、今回初の「かぼちゃプリン部門」に7品目の計26品目について、専門家を交えて積極的な意見交換が行われました。

今年度に実施したコンテストでは、一般產品部門の金賞はパン工房ぐるぐるの「かぼちゃと奥久慈卵のとろ～りクリームパン」、銀賞はパスタイオジェノヴァと大成女子高等学校の「かぼちゃのペンネグラタン」、TREV I 賞はつぼ焼おおがねの「南瓜の餡玉」、フィエルテIBARAKIの「常陸牛のかぼちゃコロッケ」、かぼちゃプリン部門の金賞はル・ポワロンの「かぼちゃと酒粕のこくうまプリン」、銀賞は39マルシェの「かぼちゃプリンinプロティン&ミネラル」、TREV I 賞は水戸農業高等学校の「かぼちゃdemoいとこdayo」が受賞しました。

## 21 月見の会の開催について

10月5日、一の関ため池親水公園及び曲がり屋において、「月見の会」を開催しました。厳かな雰囲気の中、野点の実演や篠笛、琴の演奏などが行われ、約1,000人が来場しました。

## 22 いい那珂フェスティバル2025（第2部）の開催について

10月26日、宮の池公園及び宮の池公園通りにおいて、「いい那珂フェスティバル2025」を開催し、約6,000人が来場しました。

## 23 「青少年の主張」発表大会及び表彰式典の開催について

10月4日、総合センターらぽーるにおいて、「青少年の主張」発表大会及び表彰式典を開催し、市内中学生10人、市内高校生2人、市消防本部職員2人による発表及び表彰を行いました。

## 24 「大人が変われば、子どもも変わる」運動那珂市推進大会及び市家庭教育学級家庭教育講演会の開催について

10月25日、総合センターらぽーるにおいて、「大人が変われば、子どもも変わる」運動那珂市推進大会を開催しました。こども睡眠カウンセラー認定講師の黒木道子氏を講師に迎え、「眠りの質を上げるだけで、人生はととのう」を演題に講演いたしましたほか、市内幼稚園・小・中学校の代表保護者による子育て体験談を文集にして配布しました。

## 25 第21回那珂市文化祭の開催について

11月8日、9日の2日間、中央公民館及び総合センターらぽーるにおいて、「第21回那珂市文化祭」を開催しました。期間中は、市文化協会会員の作品展示や演奏・舞踊の発表を行ったほか、茶道部会と水戸農業高等学校の生徒による茶会、（一社）二科会写真部名誉会員の大貫亘氏による特別展示を開催しました。また、保幼小中美術展覧会を同時開催しました。

## 26 平和祈念事業の開催について

7月26日から8月31日まで、歴史民俗資料館において、戦後80年を迎える「戦後80年の記憶展」を開催しました。8月1日には中央公民館にて、市内在住の戦争体験者の講演会を開催し、8月3日から8月31日まで、市役所本庁舎1階ロビー及び市立図書館において、幅広い世代のかたに戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えるため「水戸空襲写真パネル展」を開催しました。

また、平和教育の一助とすべく、市内小中学生にチラシを配布し、周知を図るとともに、8月4日から8日までの5日間、市遺族会の協力を得て被爆証言映像の上映等も行いました。

いずれにも市内外から来場者が多数訪れ、「平和の大切さを改めて感じた。」「平和を訴えるためにもこのような催しを今後も続けてほしい。」といった意見がありました。

## 27 図書館まつりの開催について

10月25日、26日の2日間、市立図書館において、「第19回図書館まつり」を開催しました。元NHKエグゼクティブアナウンサーの石澤典夫氏をお招きして、講演会「人生出会い旅」を開催したほか、児童サービスボランティアや常磐短期大学の協力のもと、おはなし会やパネルシアター、映画会を実施し、多くの家族連れが来館しました。

## 28 A stemo株式会社とフレンドリータウン協定の締結について

10月9日、A stemo株式会社が保有する女子バレーボール部「A stemoリヴァーレ茨城」を通じて相互に支援・協力し、スポーツによる地域振興や競技の普及促進、市民の健康増進による活力あるまちづくりの実現を図るため、A stemo株式会社とフレンドリータウン協定を締結しました。

## 29 水戸ホーリーホックサイン会の開催について

10月9日、中央公民館において、那珂市がホームタウンとなっている水戸ホーリーホック那珂市PR大使の松原修平選手<sup>まつばらしゅうへい</sup>、山本隼大選手<sup>やまもとはやた</sup>が、ファンやサポーターへのサイン会や写真撮影会を行いました。

## 30 水戸ホーリーホックホームゲーム「那珂市の日」について

10月19日、ケーズデンキスタジアム水戸において、「那珂市の日」としてホームタウンとなっている水戸ホーリーホックとジェフユナイテッド千葉の試合が行われました。当日は、会場に那珂市内の飲食店が2店舗出店したほか、那珂市PR大使の松原修平選手<sup>まつばらしゅうへい</sup>、山本隼大選手<sup>やまもとはやた</sup>が使用したサイン入りグッズや那珂市特産品が当たるLINE抽選会が行われ、多くの方が来場しました。

### 31 消防業務について

火災出場件数については3件、救急出場件数については635件となっております。

事業所や学校等を対象として、消防訓練指導を29回行い、3,867人が参加し、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当普及のため救命講習会等を24回行い、376人が修了しました。さらに、市民の皆様が安心して施設等をご利用いただけるよう、10月23日から市職員を対象とした普通救命講習会を計画的に実施しております。

9月28日、茨城県立消防学校において、「第76回茨城県消防ポンプ操法競技大会 県北地区大会」が開催され、那珂市からは、第8分団（瓜連地区）がポンプ車操法の部及び小型ポンプ操法の部に出場し、敢闘賞を受賞しました。

10月5日、久慈川堤防上において、岩手県大船渡市で発生した大規模山林火災を教訓とした消火訓練を、市消防団第1分団から第4分団が連携して訓練を実施しました。

10月14日、消防本部において、安全管理教育の一貫として、富山県東部消防組合消防本部上樂航氏じょうらくわたるを講師に迎え、「消防リスクマネジメント」をテーマとした職場教養を実施いたしました。

11月9日、地域における自主防災訓練の指導者養成を目的に、「那珂市消防団自主防災組織指導員養成講習」を実施しました。

11月10日、秋の火災予防週間に合わせて、「令和7年度防火ポスター・防火標語表彰式」を行いました。応募総数503点の中から、最優秀賞6作品、優秀賞12作品を選考し表彰状を授与しました。最優秀賞の作品は防火ポスターとして市内小中学校や公共施設へ配布され、市民の防火意識の高揚に役立たれます。また、「消防協力者表彰式」も開催し、令和7年7月1日、那珂市額田北郷地内で発生した建物火災において、早期の発見・通報および初期消火により被害の拡大を防いだ2名の方に対し、感謝状を贈呈しました。

11月12日、13日の2日間、笠松運動公園において、関東周辺1都9県の緊急消防援助隊が茨城県に集結し、大規模災害を想定した合同訓練を実施しました。今年度は那珂市消防本部が担当しました。

令和7年12月4日

那珂市長 先崎光